

神崎小だより



学校教育目標・・・自ら学び、心豊かでたくましく生きる児童の育成
めざす児童像・・・なかよく かしこく たくましく やりぬく
合言葉・・・【笑顔(スマイル)】 【行動(フットワーク)】 【協力(サポート)】
〈 早寝・早起き・朝ご飯 〉



熱中症に注意！

グラウンドの白い砂が太陽に照らされてまぶしく輝いています。6月なのに職員室から見える景色は、夏のピークを思わせる8月のようです。

6月後半から気温がぐんぐん上がり、真夏日が続いています。6月27日には、气象台から関東地方の梅雨明けが発表され、さらに気温が上昇しています。平年より早い梅雨明けで、なんと梅雨の期間は史上最短を更新したそうです。

これだけ暑くなると心配されるのが熱中症です。気象庁では熱中症への注意を呼びかけており、梅雨明けの27日には千葉県に熱中症警戒アラートが発表されました。

神崎小学校では、気象庁や環境省の発表及び学校に設置した暑さ指数計から、毎日、数時間おきに暑さ指数(WBGT)を確認しながら教育活動を行っています。

気温(参考)	暑さ指数(WBGT)	熱中症予防運動指針
35℃以上	31℃以上	運動は原則中止 特別の場合以外は運動を中止する。特に子どもの場合は中止すべき。
31～35℃	28～31℃	厳重警戒(激しい運動は中止) 熱中症の危険性が高いので、激しい運動や持久走など体温が上昇しやすい運動は避ける。 運動する場合には、頻りに休息をとり水分・塩分の補給を行う。 体力の弱い人、暑さに慣れていない人は運動中止。
28～31℃	25～28℃	警戒(積極的に休息) 熱中症の危険が増すので、積極的に休息をとり適宜、水分・塩分を補給する。 激しい運動では、30分おきくらいに休息をとる。
24～28℃	21～25℃	注意(積極的に水分補給) 熱中症による死亡事故が発生する可能性がある。 熱中症の兆候に注意するとともに、運動の合間に積極的に水分・塩分を補給する。
24℃未満	21℃未満	ほぼ安全(適宜水分補給) 通常は熱中症の危険は小さいが、適宜水分・塩分の補給が必要である。 市民マラソンなどではこの条件でも熱中症が発生するのを注意。

熱中症予防のための運動指針
(日本スポーツ協会)



リアルタイムで暑さ指数が分かるように児童用昇降口に掲示しています。子どもは大人に比べ、汗腺をはじめとした体温調節機能があまり発達していないため、特に気をつける必要があります。



子どもたちが楽しみにしているプール学習。暑い日の水の中は気持ちいいものです。しかし、プールでも熱中症が起きる可能性があります。そこで、泳ぐ際の上限とされる水温が32度以上になった場合はプール学習を中止としています。

PTA除草活動・再資源化物回収

6月4日(土)にPTA除草活動と再資源化物回収が行われました。午前中の除草活動は、参加していただいた皆様の手際よい作業により、短時間できれいにする事ができました。

また、午後の再資源化物回収も、収集から積み込みまでスムーズに行うことができました。ご協力どうもありがとうございました。

収益金は、児童の教育に有効に使わせていただきます。



PTA・親父の会共同企画「夜の学校探検」

皆様は、「夜の学校探検」をご存じでしょうか。PTAOBで結成された『神崎小おやじの会』が中心に企画・運営し、夏休みのある日の夜に、学校内を探検するイベントです。

コロナのためここ数年は中止になっていましたが、6月17日にPTA本部役員会があり、「子どもたちに楽しい思い出をつくってあげたい。」との意見が出て、今年度は開催することとなりました。

日時等、詳細は後日お知らせいたします。